

上市町立白萩西部公民館

◆事業の目的

地区内にある桃農家で、年間を通して桃ができるまでの作業体験をすることにより、地区内の自然に触れながら作物ができるまでに必要なことを学び、おいしい桃が生産者から自分の手に渡るまでの苦労や物のありがたさ、自然と共存することを体感する。

収穫した桃を地区にあるデイサービス施設に配布することにより、地域で見守ってくださる皆さんに感謝し、異世代での交流を図る。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
6月7日(火)	おいしい桃ができるまで (摘果)	上市町丸山地内(面積27a)	31名
6月15日(水)	おいしい桃ができるまで (袋かけ)	上市町丸山地内(面積27a)	42名
8月2日(火)	おいしい桃ができるまで (収穫、配布)	上市町丸山地内(面積27a)	86名
8月4日(木)			
11月5日(土)	おいしい桃ができるまで (体験発表)	白萩西部小学校体育館	150名

◆事業の様子

☆ おいしい桃ができるまで (摘果)

地区の桃農家である「どい果樹園」へ行き、桃ができるまでの一年間の計画説明を受け、エコファーム(農薬不使用)の安全な桃を作る過程の案内と、良い桃を作るために必要な摘果作業を体験し理解を深める。

☆ おいしい桃ができるまで (袋かけ)

摘果作業を行った「どい果樹園」へ行き、桃を害虫や外敵から守り、良い桃をつくるために必要な「袋かけ」作業を体験する。

☆ おいしい桃ができるまで (収穫、配布)

マスク、軍手着用で収穫作業を行う。多くの収穫体験をするために、日程を2日間に分けて実施。8月4日の収穫体験の後、地区にあるデイサービス施設を訪問し、収穫した地元の桃を配布し、デイサービスの役割を学び交流を深める。

☆ おいしい桃ができるまで (体験発表)

体験を通して学んだことを地域の皆さんや保護者に発表する。「地域ふれあい交流学習」という異世代交流会で発表することにより、幅広い年齢層の方々にこの活動についての理解を深めることができた。



◆事業の成果と課題

この事業を行うことにより、小学校のすぐそばにありながら気付かなかった桃農家を発見し、栽培に関心がなかった子どもたちが美味しい桃ができるまでの作業に携わることにより、自然相手の仕事の大変さ、桃づくりに対する園主の努力と愛情にふれ、収穫の際の喜びを共有することができた。

また、地区デイサービス施設への桃配布の際には、地元にある施設の発見、デイサービスの役割などを学び、通所者やスタッフの温かい心に触れ、新しい交流ができた。